

# カーペット（繊維系床材）のメンテナンスレポート

## クリーニング方式編 カーペットの洗浄クリーニングとメンテナンスポイント

### 各洗浄方式における事前バキュームについて



#### 【作業工程】

- 1) 粗ゴミを回収する。
- 2) 作業エリアのパイルが潰れている方向を確認
- 3) アップライトバキュームで、洗浄するエリアをバキュームする。



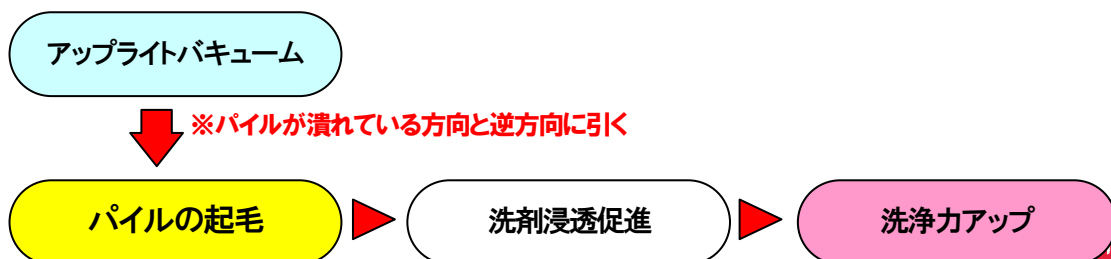
**ウィックバックを防止する事、洗浄効果を向上させる事を目的に行う。**  
 洗剤を使用するクリーニング作業前にバキュームを行うもう一つの理由が、パイルを起毛させる事であるため、使用するバキュームは必ずアップライト型バキュームを使用する必要がある。

#### 洗剤の浸透を早め、洗浄効果をUPさせるために、パイルを起毛する

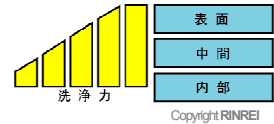
パイルが潰れたままの状態でも、表面的な汚れを除去するだけで、パイル内部の洗浄・除去は行えないので、洗浄前のパイル起毛は必須の作業になる。  
 洗浄前に行うバキューム作業は、パイルの潰れた方向と逆の方向にバキュームを行う必要があるため、**洗浄前に実施するバキュームは、必ずアップライトバキュームを使用し、バキュームを行う前にパイルの潰れている方向を確認した上で、潰れている方向とは逆の方向に、ゆっくりとバキュームを引きながらバキュームを掛ける必要がある。**



アップライトバキュームを使用したバキューム作業の方向



# 8 スチーム方式



※必要な場所・場合のみにスプレー



作業効率: 50 m<sup>2</sup>/1時間・1名  
 使用洗剤: スチーム専用クリーナー  
 前処理剤(専用プレスプレー液)  
 使用機材: ・トラックマウント  
 ・目立てブラシ

- [長所]
- 基本的に洗剤を使用しないため、洗剤残留分がないため、再汚染されにくい。
  - カーペットパイルの奥深く入り込んだ汚れや土砂を除去できる。
  - カーペットパイルの損傷が少なく、仕上がりに優れている。
  - 他の洗浄方式でクリーニングを繰り返したカーペットでも、残留洗剤分を除去できる。

- [短所]
- 機械が大きいため、持ち運びが不便で高層階での洗浄は困難。
  - 機械が高価で、イニシャルコストがかかる。

## (メンテナンスポイント)

スチームまたは熱水を高圧でジェット噴射し、汚れや土砂をパイル表面まで吹き上げ、バキューミングする洗浄方式です。エンジンを使用した強力な噴射圧と吸引力が特徴です。

歩行量が多くパイルが潰れたエリアは、洗浄効率が低下しますので、あらかじめ**アップライトバキュームを入念にかけて、パイルを起毛**させておき、スチームがパイル内部に行き渡るようにします。

また、油脂汚れが多い場合には、スチームのみでは前処理剤やスチーム専用の洗剤を使用します。

**エンジン式でない場合は**、水温や噴射圧が低くなるので、本来のスチーム方式と若干異なり、**織りカーペットが縮む場合もある**ので、エクストラクション方式に準じた2パス作業が必要になります。

エンジン式でないエクストラクターマシンを使用する場合、洗剤の使用が不可欠になる場合が多いため、使用するカーペット洗剤は高温に適した洗剤を使用する必要があります。

**市販洗剤の中には 50℃を超える温度で使用した場合、濁りが生じて洗剤としての能力を失う場合もある**ので、事前に確認しておく必要があります。

タイルカーペットの場合、**アスファルト系パッキング材を使用したタイプ**もあり、劣化状態によっては高温でアスファルトが溶け出して、**茶系のシミが発生することもあるので注意が必要**です。

洗浄適性一覧	カットパイル		ループパイル		カット&ループ	
	毛足短い ペロア等	毛足長い サキノニ等	高低差あり H/Lループ等	レベルループ	ハイカット ロールアップ	レベルカット レベルループ
アキスミンスター	○	○	/	/	○	○
ウイルトン	○	○	/	/	○	○
タフテッド	○	○	○	○	○	○
タイルカーペット	●	●	●	●	●	○
コードカーペット	/	/	/	○	/	/
電着(人工芝など)	○	○	/	/	/	/
ニードルパンチ※	○ パイルの無いカーペット					

○:適している ●:適するが制約あり ▲:あまり適していない ×:適用不可

